

人と環境にやさしい地域づくり



当地区は、三田市中心部より約10km北部にある中山間地域の集落です。高齢化の進行や後継者不足、また年々増加する鳥獣害により、農業生産意欲の減退が顕著となっていました。

そこで、「集落は一農場」の理念のもと、営農組合を設立（現在では農事組合法人にステップアップ）し、優良農地の保全とともに収益性の高い農業生産を目指して、集落一丸で取り組んでいます。

その一環として、当資源保全隊を発足し、それ以来、水路の清掃やため池の保全の強化を図っています。また、中山間地域等直接支払により共同機械を購入し、さらに、環境保全型農業直接支払により環境にやさしい米作りを行うなど、日本型直接支払の3制度を効果的に活用した取り組みを進めています。

これらの活動をきっかけとして、都市住民を対象とした黒大豆のオーナー制度や、地域特産のもち米から始まった企業とギブアンドテイクの連携が広がっています。最近では、小学生等の学習の場としての農作業体験に力を入れており、子供たちと地域住民が一緒となって楽しむ歓声が集落にこだましています。

農地維持活動



水路の泥上げ



ため池の草刈り



水路の点検・記録

資源向上（共同活動）



住民への普及啓発



施設の適正管理（獣害柵）

農村環境保全活動



景観形成作物の管理（そば）



黒大豆オーナーによる農作業



生徒の農業体験（田植え）

将来の夢・展望

“農事組合法人”十倉営農組合による営農の安定化、収益の確保により、地域へ貢献し、次世代を担う子どもたちのために、体験を通じて、環境にやさしい農業を広げていきたいです。